

国土交通省 中部地方整備局

天竜川上流河川事務所 遠山川砂防出張所

天竜川上流工事安全協議会 遠山川支部

平成30年度第6号 (平成30年9月発行)

カモシカ通信



遠山郷も涼し気な虫の音に、秋の深まりを感じる今日この頃、涼風一過、秋めいてまいりました。皆様お元気でお過ごしのことと存じます。地域の皆様方には、日頃より各工事にご理解、ご協力いただきありがとうございます。今回のカモシカ通信は、完成間近の「平成29年度 天竜川水系 池口砂防堰堤工用道路拡幅工事」、これから始まる「平成30年度 天竜川水系 池口第2砂防堰堤工用道路工事」と「平成30年度 天竜川水系 ツベタ沢砂防堰堤工事」の進捗状況、そして南信濃のお祭り「諏訪神社の祭礼 御射山祭り」について紹介します。

平成29年度 天竜川水系 池口砂防堰堤工用道路拡幅工事 工期平成29年10月31日～平成30年9月28日

株式会社宮坂組です。平成29年12月に着手、大島と池口を繋ぐ市道池口線において、点在する7箇所の道路拡幅工事を進めて参りましたが、平成30年9月下旬に工事が完了する予定です。

残りの工事が完了するまで気を緩める事無く、安全第一で努めて参ります。



平成29年11月 (工事開始前)

見通しが悪く、立木で日陰でした。



平成30年9月 (工事完成間近)

見通しが良くなり、立木を伐採したことにより明るくなりました。

これから始まる「平成30年度 天竜川水系池口第2砂防堰堤工用道路工事」からご挨拶

この度、南信濃和田大島地区において、池口第2砂防堰堤工用道路工事を施工させていただく事になりました勝間田建設株式会社です。

工事期間中は、地域の皆様方にご不便とご迷惑をお掛けする事と思っておりますが、安全第一で工事を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

工事名：平成30年度 天竜川水系池口第2砂防堰堤工用道路工事

工事箇所：飯田市南信濃和田大島地区

工期：平成30年9月4日～平成31年3月22日

工事内容

道路土工 1式、法面工 1式、擁壁工 1式、土留工 1式、舗装工 1式

緑石工 1式、防護柵工 1式、区画線工 1式、構造物撤去工 1式、仮設工 1式



私が担当します

現場代理人・監理技術者：岡井源光

 勝間田建設株式会社

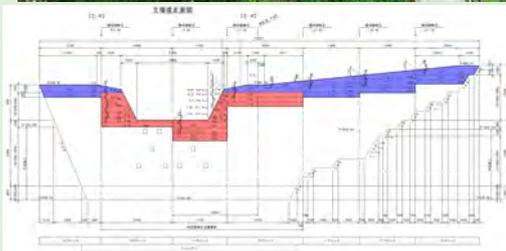
【連絡先】飯田市松尾町3丁目19番地

TEL0265-22-3480

平成30年度 天竜川水系 ツバタ沢砂防堰堤工事の進捗状況



平成30年8月末の状況



主堰堤コンクリート量		1267.0 m ³
打設済のブロック	打設数量	進捗率
	619 m ³	49%
今後の打設ブロック	848 m ³	51%

8月末現在、主堰堤の型枠組立からコンクリート打設作業を繰り返し施工しています。7月上旬から施工を開始し、主堰堤で計画されているコンクリート1267m³のうち、619m³（49%）のコンクリート打設が完了しています。8月については異常な曇りの中、コンクリートの品質低下を発生させないよう、材料や施工方法に配慮して進めています。作業場所は地上から20mの高さに達しており、高所からの墜落事故防止に努めています。

連絡先 株式会社ヤマウラ 土木支店
 駒ヶ根市北町22-1 TEL 0265-82-4812
 担当 現場代理人 北村 靖章
 監理技術者 下出 知宜

とよま みさやま 遠山の御射山祭り

御射山祭りは、和田と南和田の氏神である諏訪神社の祭礼で、以前は8月26日・27日の両日でしたが、現在では8月の第4土曜日となっています。午後5時半ころから「キオイ」が行われ、子供や若者が趣向をこらした神輿を担ぎ、中学校を出発し和田商店街を諏訪神社へと向かって練り歩きます。



「キオイ」の様子



「大花火大会」の様子

午後7時半からは大花火大会です。遠方から花火見物に来られる人も増えており、遠山谷の狭い夜空いっぱい大きな花火が広がり、轟音がこだまして響き渡り、観客を魅了します。

諏訪神社の祭礼 御射山祭りの起源

御射山祭りは二百十日に先立って山上で忌籠りをし、贅として動物を捨けることで祟りやすい「山の神」を鎮めて、台風の無事通過を祈願するのが本来の目的だったといえます。諏訪神はもともと風よけの神として信仰されていました。諏訪大社には薙鎌と呼ばれる風封じの神器があり、これは、五行説の「金克木」に基づいた思想であるといわれています。つまり、金気である鉄鎌を木気である木に打ち込むことにより、間接的に木気である「風」を封じ込めようという呪法です。旧南信濃村でも、九月一日には各家で草刈り鎌を竿の竹の棒に縛り付け、軒先に吊るす風習があったそうです。鎌が風を切るという「風除け」のまじないです。

現在の南信濃和田の御射山祭りに風除けにまつわる神事などは伝えられていませんが、こうした背景を心にとめておくと、祭りの楽しみもまた違った物になるかもしれません。

